



活き活きと魅力に

.....
満ちた田園都市
.....

板野町

町勢要覧 2025

活き活きと魅力に

満ちた田園都市

板野町

町勢要覧 2025



あすたむらんど徳島



徳島スポーツビレッジ



春にんじん



あせび温泉
やすらぎの郷



道の駅「いたの」



歴史文化公園
「イタノザウルス」

P4 町長からのごあいさつ

P5 板野町ってどんなまち？

P6 子育て・教育

P8 健康・福祉

P10 いたのの防災

P12 いたのの産業

P14 ふるさと納税

P15 いたのの企業

P16 道の駅「いたの」

P18 いたのの歴史・文化

P20 いたののお祭り

P22 いたのの暮らし

P24 第六次板野町振興計画

P26 いたのの交通

P27 いたのの行政

P28 板野町 70 年のあゆみ

P30 板野町マップ



板野東
小学校

板野町
役場



板野町長
東根 弘幸

発刊にあたって

板野町は、昭和30年2月に1町2村が合併して誕生しました。恵まれた自然と四国八十八ヶ所霊場のうち三つの札所を有し、いにしえから続く歴史や文化が調和するまちで、昭和から平成、そして新たな令和の時代へと続いているまちづくりは、今年で70年が経過し、人に例えると古希の大きな節目を迎えました。

この間、我が国においては集中豪雨・大規模地震といった自然災害のほか、新型コロナウイルス感染症の拡大が暮らしや地域経済に深刻な影響を及ぼしたことで、地域における安全・安心な暮らしを実現することが従前にも増して重要な課題となっています。

また、少子高齢化を伴いながら進展する人口減少は、本町における安定した生活・くらしや町政運営そのものの持続可能性が危惧されるところで、地域の人口構造や人口規模に沿うようなまちづくりがこれまで以上に求められています。

新しい時代においても、直面する多くの課題を克服しながら、今後10年間のまちのあるべき姿を見据えた第六次板野町振興計画では「安心」「笑顔」をキーワードに引き続き「人」の交流が活発で、誰もが生き生きとした暮らしが叶うまちづくりにチャレンジし、新たな歴史のページを積み重ねてまいりたいと考えています。

しかし、まちの諸施策の推進には、住民と行政がそれぞれの役割を發揮し、両者が一体となって課題を解決していくことが必要となります。そのためにも、住民と行政が情報を共有化し、協働でまちづくりを更に進めさせていただき、一人ひとりがまちに誇りと愛着を持ち、生き生きと暮らせるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

この町勢要覧を通じ、町民皆さまとの繋がりがさらに深まり、更なる板野町の発展にお力添えをいただければ幸いと存じます。



板野町ってどんなまち？



板野町章

人口 12,821人 (令和6年12月1日現在)

世帯数 5,850世帯 (令和6年12月1日現在)

面積 36.22平方キロメートル

(国土地理院 令和5年全国都道府県市町村別面積調より)

昭和30年に板西町、松坂村、栄村の1町2村が合併し、板野町が誕生しました。北に阿讃山脈、南に吉野川平野を望む総面積36.22平方キロメートルのまちです。

農業が基幹産業となっており、肥沃な吉野川沖積層を土壌に、米、春にんじん、れんこん、しろうりなどが多くの土地で栽培されています。特に春にんじんは板野町の特産であり、全国一のシェアを誇ります。

令和3年4月には道の駅「いたの」がオープンしました。高速道路のインターチェンジから近く、県外からのアクセスも良いことからたくさんの方に利用されています。

令和4年～令和6年には大手住宅メーカーが調査した「街の幸福度ランキング」で3年連続四国1位に選ばれました。

令和7年度から「第六次板野町振興計画」前期基本計画に沿った行政運営が始まります。「生き生きと魅力に満ちた田園都市」をまちづくりの理念に掲げ、将来像である「人が輝く安心、笑顔、交流のまち いたの」の実現に向けた基盤整備の拡充を図ります。「安心・安全な生活を守る」「活力と交流を生み出す」「人を育み、持続可能なまちを創る」の3つの基本目標を定めています。



町の花 さくら



町の木 あせび

子育て・教育



PICKUP

乳幼児健診

乳幼児に対して、検診や育児相談、栄養相談などを実施しています。

子どもたちが明るくのびのびと成長できるよう、少子化対策や子育て支援対策を充実させ、出産祝金の交付、保育料の無償化、保育園・幼稚園の給食費の無償化など、子育て家庭の経済的支援を進めています。

また、地域や関係機関との連携を深めながら、地域子育て支援センターや子ども家庭総合支援センターなどの機能充実を図り、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりをめざします。



育児相談

子育て支援制度一覧

妊娠～出産

- **不妊治療費・不育症治療費助成事業**
保険適用後の本人負担額に対し、年間10万円を上限に交付します。
- **出産・子育て応援給付金事業**
妊娠届出後5万円、赤ちゃん訪問後5万円を交付します。
- **妊婦一般健康診査**
無料で受診できる受診票（14回分）を交付します。
- **出産祝金**
新生児1人あたり10万円を交付します。

誕生～就学前

- **ブックスタート事業**
町内に生まれたすべての赤ちゃんと保護者に絵本を手渡す運動を実施しています。
- **町立幼稚園授業料無償**
- **保育園保育料無償**
- **町立幼稚園・保育園の児童の給食費無償**

就学後

- **板野町小中学校等入学祝金**
小中学校の新入生1人につき1万円を交付します。
- **給食費補助**
町内小・中学校の生徒の給食費の半額を補助しています。
- **放課後子供教室推進事業**
小学生を対象として、安全で安心な居場所づくりを目的に実施しています。工作、手芸、藍染め体験などを行っています。



板野保育園 運動会



PICKUP

放課後子供教室

放課後や週末など、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）づくりや、地域の方々との積極的な交流の場を設ける活動をしています。



PICKUP

おはなし会（文化の館図書館）

月に1度、文化の館図書館の絵本コーナーで絵本の読み聞かせを行っています。

Check Point!

子ども家庭総合支援センター

町民が安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに成長することができる環境形成を目的に、令和4年4月1日「板野町子ども家庭総合支援センター」が設置されました。

子ども家庭総合支援センターは、「少年育成室」、「子ども家庭支援室」、「教育支援室」の3つの機能を持っています。不登校などで学校に行きにくい子どもの居場所づくりをはじめ、学習や行動の悩み、子どもの養育の悩み、虐待に関する相談など、子どもや家庭に関する悩みに対し、連携のもと対応・支援をしていきます。

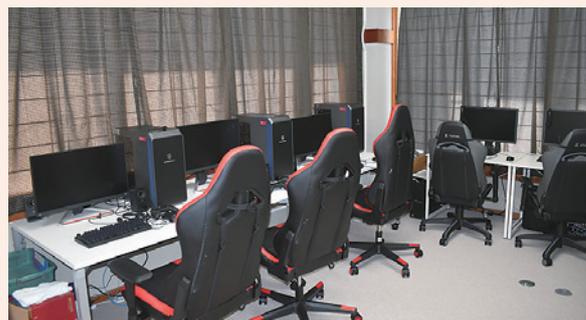
お問い合わせ

板野町子ども家庭総合支援センター・総合相談窓口
（大寺字亀山西 169番地5 町民センター2階）

☎088-672-5567 ☎088-672-5950

✉sien-center@town-itano.i-tokushima.jp

（リモート相談も可能です）



教育支援室 e-sportsができる環境を整えています。



子どもたちの自主的な活動を大切にしています。

健康・福祉



誰もが住み慣れた町で安心して暮らせるよう、健康教室や介護予防事業などの充実に努めています。また、ライフスタイルの変化に伴い、自主的な健康づくりがいっそう大切になってきています。健康寿命を延ばし、元気に長生きできるように、栄養や運動、口腔機能などに重点をおいた健康づくりについても充実に図っています。

住民が健康に関心をもち、いきいきと健やかに暮らせるように、これまでの取り組みをさらに進め、様々な機会を通じて健康づくりへの取り組みを応援します。



PICKUP

自然いっぱいの板野町を歩きます

あさんウォーキングフェスタ

「環境と健康を考える」をテーマに、阿讃山脈の自然を体いっぱいに感じながら歩く、ウォーキング大会をメインに開催。板野町の特産品を販売するブースなども設けられ、町内外から多くの方が訪れるイベントです。



PICKUP

介護予防教室 「おたっしや倶楽部」

運動や脳トレ、音楽を使ったプログラムなど、いつまでも元気で過ごすための教室を開催しています。



ラジオ体操会



PICKUP

男性チャレンジ教室

料理や運動など、いろいろなことにチャレンジしています。



カローリング大会



板野町田園パーク

心身の健康づくりのための施設です。体育館（健康の館）、トレーニング室、ゲートボール場、陸上競技場、サッカーグラウンド（人工芝）などがあります。

お問い合わせ
板野町田園パーク
（板野町伏字東スカ37番地1）
☎088-672-3333



非常食

いたのの防災



PICKUP

子ども達の防災ステーション見学

小学生が防災ステーションの見学にやってきました。普段から防災の施設に触れておくことはとても大切です。

日々の生活において住民が安心安全に暮らせるよう、南海トラフ地震への備えとして対策を講じるとともに、「自助・共助・公助」による、自分の身は自分で守るという自主防災意識の高揚、住民相互の協力体制など災害時に効率かつ迅速的な対応ができる体制づくりをめざします。





PICKUP

女性消防団発足

大規模災害の発生を見据え、第5分団となる女性消防団が発足しました。



PICKUP

図上訓練

実際に災害が起こった場面を想定し、徳島県や消防署と一緒に図上訓練を行いました。



PICKUP

防災訓練

新型コロナウイルスが流行した際、感染症を想定した防災訓練を行いました。



PICKUP

文化財防火訓練 (バケツリレー)

文化財を守るため、毎年町内のお寺や神社で防火訓練を行っています。

いたのの産業

板野町は、徳島県の北東部に位置し、南部に旧吉野川が東西に流れる恵まれた自然条件を活かした肥沃な農業地帯です。農業は町の基幹産業であり、春先に欠かせない彩りのある春にんじん、きめ細かな肌合いのれんこん、奈良漬けに形を変えるしろうりなどが特産品です。



春にんじん

板野町の春にんじンは、やわらかく甘いのが特徴です。トンネル栽培でじっくり時間をかけて生育させ、きれいな形とおいしさを兼ね備えた春にんじんが作られています。



れんこん

板野町で作られているれんこんは、肌の白さと独特の香りが特徴です。手掘りで丁寧に収穫されるれんこんは、天ぷらや煮物、炒め物、サラダなどが定番です。



しろうり

西中富でたくさん栽培されています。夏に収穫最盛期を迎え、塩漬けにされたしろうりは、半年ほど寝かせたあとに県内外の漬物製造会社に出荷されます。

桃

板野町の桃は主に川端で作られています。寒暖差が大きく降水量が少ないことから、甘くてみずみずしい桃作りに適しています。「あかつき」や「なつおとめ」など様々な品種の桃が栽培されています。



にんじんけちやっぷ
(ふるさと工房)

春にんじんのピューレにワインや香辛料を合わせたオレンジ色の上品なけちやっぷ。



ブルーベリージャム
(落合ブルーベリー園)

落合ブルーベリー園のブルーベリーを100%、数種類の品種をミックスして作ったジャム。



焼き肉のたれ
(ふるさと工房)

甘い春にんじんを使用した濃厚な焼肉のたれ。

六次産業化により 誕生した商品たち



たっぷりにんじんドレッシング
(徳島産業)

「春にんじん」を全容量の3割以上(36%)も使用した人気製品。



まぜるだけの
ごちそう野菜ペースト
(36 食堂)

春にんじんのおいしさをじっくりと味わうごちそうペースト。



ほりこむだけの
丸ごと野菜ご飯の素
(36 食堂)

やさしいスープで炊き上げた春にんじんの甘みと旨みをまるごと味わうご飯の素。

ふるさと納税

板野町では、「ふるさと納税」を通じて、たくさんの方から、「町を応援したい」気持ちを寄附金という形で寄せいただいています。寄附をしていただいた方には、ささやかではありますが、感謝の気持ちを込め、お礼の品をお贈りしています。

ここでは板野町の魅力が詰まった返礼品を少しだけ紹介します。

板野町ふるさと納税
はコチラから⇒



板野町の返礼品 (一部抜粋)



SOYJOY(大塚製薬)

板野町内の大塚製薬の工場で作られています。小麦粉を使用せず、栄養豊富な大豆をまるごと生地にして焼き上げています。



国産親どりつくね串(和風)

板野町内の工場で作られています。親どりを主原料にした平型つくねを、鉄砲串に2個刺し、タレ漬けし、焼き上げた高級な和風つくね串です。



板野町の春にんじん

板野町の特産品の春にんじんです。甘くて柔らかく、βカロテン、ビタミンC、カリウムが含まれています。スティックサラダやジュースにもおすすめです。

PICKUP

徳島工業短期大学 T型フォードスピードスター運転体験

T型フォードスピードスターとは、アメリカのフォード社の手によって制作された世界初の量産市販車です。

エンジンがかからない不動の状態の車両を、生徒達がプロジェクトリーダーとなり、アドバイザー協力のもと、全国の皆さまからのクラウドファンディングにより走行できる状態まで修復しました。このT型フォードを用い、クランクハンドルによるエンジン始動、現在の車両と大きく異なるペダルやアクセルの操作練習ののちに、運転体験をすることができる体験型のお礼品です。



寄附金の使い道

1. 保健・医療・福祉の向上に関する事業
2. 安心安全・生活環境の向上に関する事業
3. 産業の振興に関する事業
4. 交通機関の充実・中心市街地の魅力の向上に関する事業
5. 人権・教育・文化の向上に関する事業
6. 地域自治の充実に関する事業
7. その他目的達成のために町長が必要と認める事業

いたのの企業

この10年間で、板野町へ事業所を新設した
主な企業をご紹介します。



① HOTEL AZ 徳島板野店



②生活協同組合コープ自然派しこく 徳島センター



③仲野産業株式会社 板野工場



④東亜合成株式会社(移動式水素ステーション)



⑤株式会社サカイ引越センター 徳島支社

道の駅「いたの」

防災
道の駅



道の駅「いたの」は、交通アクセスの優れた場所と地域資源を活かしながら様々な課題へ対応できるように「未来志向型道の駅」として令和3年4月にオープンしました。四国では88箇所目の道の駅となります。

地域振興施設、防災区域、バス停留区域などがあり、防災道の駅としても選定されています。

道の駅のメインとなるのは特産物直売所です。レストラン、足湯、ドッグランなども併設されています。燃料電池自動車の燃料を補給するための、移動式水素ステーションも備わっています。



PICKUP

特産物直売所

板野町の特産品である春にんじんや桃を使った商品、お漬物をはじめ、新鮮な野菜や果物、種苗など様々な商品を直売しています。



PICKUP

恵食堂

地元農家の方がつくった旬の野菜をふんだんに使った料理を楽しむことができます。



PICKUP

足湯

あせび温泉やすらぎの郷のお湯を使った足湯です。



ドッグラン



防災区域

防災区域には、避難所兼備蓄倉庫の「防災ステーション」、ドクターヘリなどが発着できるヘリポート、耐震性貯水槽などがあります。



防災ステーション



PICKUP

第1支援室・第2支援室

災害が起こった際には、第1支援室・第2支援室併せて約90人の避難所として使用することができます。



PICKUP

アマチュア無線

大規模災害時等における情報収集等の補完的な通信手段としてアマチュア無線の活用を想定し、道の駅「いたの」アマチュア無線クラブを設立しています。



PICKUP

備蓄倉庫

簡易ベッドや約18,000食分の非常食、飲料水などが備蓄されています。



PICKUP

ヘリポート

ドクターヘリなどが着陸できるよう、整備されています。



PICKUP

耐震性貯水槽

水道管に直結しており、緊急時には自動遮断により、60,000ℓの飲料水を確保することができます。

いたなの歴史・文化

文化財は私たちの祖先の生活のあかしです。その一つひとつが歴史であり、遺産であり、町の貴重な財産です。町の貴重な財産を次世代に受け継ぐため、文化財や伝統芸能、文化意識を高め継承していきます。



板野町には四国八十八ヶ所霊場が3カ寺あります。

第五番札所 地藏寺の境内



第三番札所 金泉寺



第四番札所 大日寺



第五番札所 地藏寺



岡の宮の大クス

樹高35m、根回り24.5m、樹冠は東西27m、南北37mのクスノキです。岡上神社の境内にあります。昭和48年8月21日に徳島県指定天然記念物として指定されました。



五百羅漢（地藏寺奥の院）

第五番札所地藏寺奥の院です。本寺（地藏寺）の北側にあります。安永4年に実間・実名という兄弟の僧によって創建されました。大正4年の火災で焼失し、その後大正11年に再建したのが現在の堂です。地元では「羅漢さん」の名で親しまれています。



愛染院（金泉寺奥の院・赤澤信濃守廟所）

第三番札所金泉寺奥の院です。板野町那東あかさわしなののかみに所在します。愛染院の境内には板西城主赤澤信濃守あかざわのぶよしをまつる廟所があります。赤澤信濃守は、日頃当寺の不動明王を厚く信仰していたので、ここにその廟所を建てたと言われています。



愛染庵（犬伏久助像）

犬伏久助いぬぶしきゆうすけは、板野町下庄の藍農家に生まれ、藍染料の製法の改良に成功し、阿波藍の発展に多大な貢献をしました。品質が高まった阿波の藍染料は「本藍」と呼ばれ、全国的に有名となりました。藍染庵には犬伏久助の木像が安置されています。



大坂口御番所跡（旧村瀬館）

阿波国から讃岐に入る国境の関所です。この峠道は奈良朝の昔から都と阿波、それに讃岐を結ぶ重要な交通の要所でした。現在は御番所の石畳が現存するのみとなっています。

いたののお祭り



地域の歴史や風土、伝統芸能など悠久の記憶を通じて長年にわたり培われてきた人と人とのつながり、地域での町民相互の連帯感や、自治意識を高めるために様々な交流の場が創られています。

地域のお祭りもその一つ。板野町では、それぞれの地区でお祭りが行われ、獅子舞や傘踊りなどが大切に伝えられています。



吹田・奥宮神社



那東・青木神社



川端・諏訪神社



川端・八幡神社

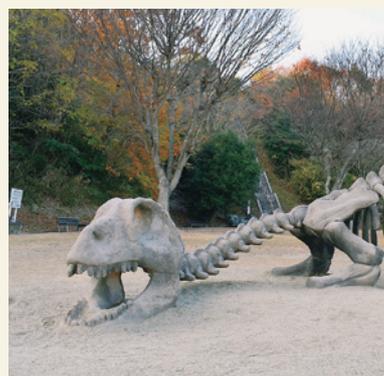


いたののくらし

板野町にはくらしを彩る様々な施設があります。

また、年間を通じてさまざまなイベントを開催しています。その一部をご紹介します。

歴史文化公園



敷地内にある「森の遊園地」や「祭りの広場」にはアスレチックや遊具があり、幅広い年齢のお子さんが遊べる場所です。「文化の館」には多目的ホールや図書館、会議室などがあります。

あせび温泉やすらぎの郷



あせび温泉キャラクター
あせびちゃん・弁慶くん

あせび温泉の源泉水は、大坂甚左原の地下250mから自噴する温度20.7℃のアルカリ性の泉質で、入浴後、肌がつつるし、なめらかになる効果があるといわれています。

周辺には豊かな自然と、歴史遺産がたくさんあり、四季折々の借景を楽しみながら、リラックスして入浴できます。

入浴料

大人（中学生以上）	600円
子ども（満3歳～小学生）	400円
70歳以上（板野町在住）	400円

※お得な割引や回数券も販売しています。

お問い合わせ
あせび温泉やすらぎの郷（大坂字椋木原30番地1）
☎088-672-1126

イベントいろいろ



いたの子どもフェスティバル



ふるさと巡行バス



ふれあい隣保館まつり



童謡とわらべ歌のつどい



あすたむらんど徳島



NPO法人徳島
スポーツビレッジ・
徳島ヴォルティス

第六次板野町振興計画

(基本構想・前期基本計画)

〈ランドデザイン〉

生き生きと魅力に満ちた田園都市

板野町では、平成 27(2015)年 3 月に、町の方向性を示す「第五次板野町振興計画（基本構想・前期基本計画）」を策定し、ランドデザインに「生き生きと魅力に満ちた田園都市」、10 年後の将来像に「安心なまち・子どもが輝くまち・交流のまち」を掲げ、その実現のための各施策を推進してきました。

現在の「第五次板野町振興計画」が令和 6 年度をもって計画期間が満了となることから、今後 10 年間のまちのあるべき姿を見極め、その実現に向けた「第六次板野町振興計画」を策定します。



人が輝く安心、笑顔、交流のまち いたの

板野町は、四国八十八箇所霊場が 3 カ寺あり、かねてより人が行き交う拠点のまちでありました。近年では、高速道路網の整備や道の駅「いたの」の開設に伴い、人・もの・情報が交流する地域として成長しています。

また、これまで力を入れてきた「子育て施策」に加え、防災・減災に関する取組を推進するとともに、子どもから高齢者まですべての人が笑顔で安心できる地域の実現を目指して、まちづくりに取り組んでいます。「第六次板野町振興計画」では、「安心」「笑顔」をキーワードに、引き続き「人」の交流が活発で、誰もが生き生きとした暮らしを実現することを目指し、将来像を設定します。

1. 基本目標

将来像の実現に向けて、本計画では次の 3 つを基本目標に掲げ、取組の推進を図ります。

安心・安全な生活を守る

子どもから高齢者まですべての人が健やかに自分らしく暮らし続けるための保健・医療・福祉の環境を整えます。また、近年激甚化する傾向にある地震や豪雨災害などに備え、平時から町及び住民との協働により、町の強靱化に関する取組を総合的に推進することで、住民の生命と身体、財産を守り、安心・安全な暮らしを守ることを目指します。

活力と交流を生み出す

道の駅「いたの」を交流拠点に、高速交通に恵まれている立地条件を活かしながら、“人・もの・情報”が集い、交流しあうまちづくりを目指します。また、産業面では、基幹産業である農業の就業環境の充実とともに、産業間連携や企業誘致の促進を図ることで安定した雇用の創出による活力の維持を目指します。

人を育み、持続可能なまちを創る

子どもたちの学びの環境を充実し、文化・芸術等の体験を通じた郷土愛を育むことで、まちの未来を担う人材の育成を目指すとともに、高齢者の「生涯現役社会」の実現等により、誰もが住み慣れたまちで生涯生き生きと暮らすことのできるまちづくりを目指します。また、将来にわたり持続可能なまちづくりを実現するため、地域コミュニティの活性化等により、住民と行政等の協働によるまちづくり体制を構築するとともに、SDGs の理念に通じる各種取組の推進により、複雑・多様化するまちづくり課題の解決を加速化していく必要があります。

2. SDGs の理念に基づくまちづくりの推進

SDGs(エスディーゼーズ)とは、平成 27(2015)年 9 月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことで、令和 12(2030)年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の共通目標です。



基本政策 1

支えあいみんなが安心して暮らせる仕組みづくり

少子高齢化の進行に伴い、地域のつながりの希薄化が進むなか、地域の支え合いの力の維持・強化に向けて、地域活動の担い手確保や、地域の交流促進に関する取組を推進します。また、誰もが生涯にわたり安心して暮らせる地域づくりに向けては、ライフサイクルに応じた健康づくりの推進も重要です。

- 1 地域福祉の推進
- 2 保健・予防の充実
- 3 子育て支援の充実
- 4 高齢者福祉の充実
- 5 障がい者福祉の推進

基本政策 2

安全・安心に暮らし続けられる空間づくり

“防災・防犯体制の向上”に関するニーズは非常に高く、本町が強化すべき施策のひとつです。道の駅「いたの」は、県内で唯一、国の定めた『防災道の駅』に認定された道の駅であり、ここを防災拠点施設として、大規模災害への備えを拡充するとともに、デジタル技術を活用した防災DXの推進により、取組の強化を図ります。

- 1 防災体制の向上
- 2 防犯・交通安全体制の充実
- 3 循環型まちづくりの推進
- 4 上下水道事業の推進

基本政策 3

産業振興による活力づくり

本格的な人口減少社会が到来するなか、本町が将来にわたり活力を維持するためには、地域産業の振興及び、雇用力の強化が必要です。本町の基幹産業である農業については、近年高齢化による担い手不足が深刻となっており、後継者の育成や新規就農促進に向けた取組を強化します。

- 1 農業の振興
- 2 商工業の振興
- 3 観光の振興
- 4 特色ある地域産業の振興

基本政策 4

生涯にわたる学びの環境づくり

地域住民や多様な主体が参画し、人と人、人と資源がつながる“共生社会”の実現を目指し、性別や国籍、障がいの有無等に関わらず、すべての人の尊厳や権利が尊重されるまちづくりの推進を目指します。

- 1 人権の尊重と共生社会の形成
- 2 男女共同参画の推進
- 3 児童・生徒の教育環境の整備充実
- 4 生涯学習・生涯スポーツの促進
- 5 歴史・文化の継承と創造

基本政策 5

人・もの・情報が集う都市基盤づくり

持続可能なまちづくりの推進に向けて、人口減少の抑制が喫緊の課題となるなか、特に若い世代の移住定住促進や、地域と多様な形で関わる交流・関係人口の創出に向けた対策を推進します。

- 1 適切な土地利用の推進
- 2 市街地環境の整備
- 3 道路・交通機能の充実
- 4 公共空間の整備・促進
- 5 交流と定住促進

基本政策 6

将来にわたり持続可能なまちづくり

近年の地方を取り巻く環境及び住民ニーズの多様化・複雑化に適切に対応し、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進するためには、住民との協働のまちづくりを強化するとともに、健全な行財政基盤の確立と開かれた役場づくりに努めます。

- 1 地域コミュニティの活性化
- 2 信頼される役場づくりと行財政改革の推進

いたのの交通

板野町は、古代の官道「南海道」が通り、当時の地方役所「^{いたのぐんが}板野郡衙」が設けられ、往時には都や地方から人・もの・情報が盛んに行き交う交通の要衝の地でした。

近年、高松自動車道板野インターチェンジや徳島自動車道藍住インターチェンジへのアクセス道路が整備され、さらに道の駅「いたの」には、高速バスや路線バスの乗り場も整備されました。板野町は、関西経済圏からの四国の玄関口としての役割を担い、県北部の産業・文化・教育・観光の広域交流拠点として発展しています。



板野インターチェンジ



道の駅「いたの」バス停



JR板野駅

●板野町へのアクセス

 高速バス	大阪	約2時間30分
	神戸三宮	約1時間40分
 列車	高松市	特急列車で約1時間
	徳島市	普通列車で約30分 特急列車で約20分
 自動車	高松自動車道板野IC	
	徳島自動車道藍住IC	約5分
 飛行機	徳島阿波おどり空港	タクシー(自動車) 約30分

板野町

道の駅「いたの」が、高速道路の立ち寄り施設となっています

板野ICで高速道路を降り、道の駅「いたの」に立ち寄り後、2時間以内に同ICから高速道路に乗り順方向に利用した場合、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合の料金と同じ料金を調整されます。

※ ETC2.0 搭載車が対象です。



いたのの行政



令和7年度から「第六次板野町振興計画」前期基本計画（P24・P25）に沿った行政運営が始まります。この計画に基づき、新たな今後10年間のまちのあるべき姿を見極め、その実現に向けた効果的な取組の充実をめざします。

議会は、選挙で選ばれた議員で構成され、町民の意見を正しく把握し、反映させながらまちづくりを進めています。定例会議は年4回開かれ、必要に応じて臨時議会も招集されます。審議内容や結果は、年4回発行される「議会だより」でお知らせしています。

Check Point!

映画「道草キッチン」

板野町町制70周年および吉野川市市制20周年を記念し、映画「道草キッチン」が共同制作されました。主演は女優 なかえ ゆり 中江有里さんです。映画は令和7年の公開です。



板野町 70年のあゆみ

1955 ● 昭和 30 年	2月11日合併・板野町誕生 (板西町・栄村・松坂村が合併) 第1回板野町長選挙(扶川文雄氏当選) 大坂分校及び分園完成 養老院(現在養護老人ホーム)設置	1976 ● 昭和 51 年	西新田教育集会所完成 大坂分校屋内運動場完成
1956 ● 昭和 31 年	南公民館完成	1977 ● 昭和 52 年	町民センター完成 南公会堂完成 東(野球用)西・南(ソフトボール用) 小学校グラウンドに夜間照明施設完成
1957 ● 昭和 32 年	板西警察署改称板野警察署となる	1978 ● 昭和 53 年	町民音頭レコード制作 西小学校校舎増築及び屋内運動場完成 川端教育集会所完成 東公会堂完成
1958 ● 昭和 33 年	町内三中学校を統合板野中学校とする 中央公民館完成	1979 ● 昭和 54 年	第7回町長選挙(犬伏文雄氏当選) 郡頭教育集会所完成 板野西部青少年補導センター設立
1959 ● 昭和 34 年	第2回町長選挙(扶川文雄氏当選)	1980 ● 昭和 55 年	国土利用計画(板野町計画)策定
1960 ● 昭和 35 年	有線放送農業協同組合設立	1981 ● 昭和 56 年	健康教室が県知事表彰受賞
1961 ● 昭和 36 年	大寺公会堂完成	1982 ● 昭和 57 年	クリーンセンター(し尿処理場)完成 勤労者体育センター完成 教職員住宅新設 第1回民間使節団がニュージーランド・ クライストチャーチ市を訪問
1962 ● 昭和 37 年	中学校普通教室及び特別教室完成	1983 ● 昭和 58 年	第8回町長選挙(犬伏文雄氏当選) ニュージーランド・クライストチャーチ 市から第1回民間使節団来町 県下初の林野火災防御訓練実施
1963 ● 昭和 38 年	第3回町長選挙(佐藤源定氏当選) 川端・郡頭公会堂完成	1984 ● 昭和 59 年	黒谷川郡頭遺跡発掘 (三世紀前後の集落遺跡)
1964 ● 昭和 39 年	中学校管理棟及び特別棟完成	1985 ● 昭和 60 年	第一次那東地区ほ場整備完成 国鉄高德本線開通50周年記念式典挙 行 町制施行30周年記念式典挙 行
1965 ● 昭和 40 年	南小学校屋内運動場完成 中学校屋内運動場完成	1986 ● 昭和 61 年	町基本構想策定
1966 ● 昭和 41 年	地籍調査実施(7ヶ年計画)	1987 ● 昭和 62 年	児童館・総合センター完成 第9回町長選挙(犬伏文雄氏当選)
1967 ● 昭和 42 年	町制施行10周年記念式典 東小学校校舎完成 第4回町長選挙(佐藤源定氏当選)	1988 ● 昭和 63 年	柔剣道場(中学校)完成 第10回町長選挙(犬伏正昭氏当選)
1968 ● 昭和 43 年	役場庁舎完成・板野町章決定 西公民館完成	1989 ● 平成 元年	吉野川北岸用水事業完工 農業構造改善事業優良地区として大臣表彰
1970 ● 昭和 45 年	広報誌“板野の素顔”創刊 町民プール完成 学校給食開始 南小学校校舎完成	1990 ● 平成 2 年	町民ふれあいプラザ完成 環境センター(ごみ焼却場)完成 ふるさと創生事業 (ふるさと巡回バス運行開始、WAKU WAKUウォーキングスタート)
1971 ● 昭和 46 年	西小学校校舎完成 東幼稚園舎完成 第5回町長選挙(佐藤源定氏当選)	1991 ● 平成 3 年	田園パーク・町民スポーツガーデン完成
1972 ● 昭和 47 年	西小学校プール完成 東小学校屋内運動場完成 東小学校グラウンドに夜間照明施設完成 国鉄鍛冶屋原線廃止 “板野町史”発行 浄水施設完成	1992 ● 平成 4 年	第11回町長選挙(犬伏正昭氏当選) 田園パーク・健康の館完成
1973 ● 昭和 48 年	南小学校管理棟及び特別棟完成 岡上神社(岡ノ宮)“大クス”県指定天然 記念物に指定	1992 ● 平成 4 年	健康づくり推進活動功労者団体として知 事表彰
1974 ● 昭和 49 年	西部消防組合庁舎完成 総合保育園完成 東小学校管理棟及び特別棟完成	1993 ● 平成 5 年	一般廃棄物最終処分場完成 東四国国体デモスポ(グラウンド・ゴルフ)開催
1975 ● 昭和 50 年	西小学校管理棟及び特別棟完成 町内小学校創立百周年記念式典挙 行 町制施行20周年記念式典挙 行 第6回町長選挙(佐藤源定氏当選)		

1994 ● 平成 6 年	四国縦貫自動車道(藍住 - 脇間)供用開始 シルバー人材センター設置
1995 ● 平成 7 年	第 3 次振興計画(町基本構想)策定 歴史文化公園・文化の館完成 町制施行 40 周年記念式典挙行
1996 ● 平成 8 年	第 12 回町長選挙(犬伏正昭氏当選) 彩りの館完成
1997 ● 平成 9 年	デイサービスセンター・在宅介護支援センター完成 指定ごみ袋による分別収集開始
1998 ● 平成 10 年	あさんインダストリアル・パーク整備事業竣工
1999 ● 平成 11 年	四国横断自動車道(鳴門 - 板野間)起工式 森の遊園地開園 健康相談総合窓口開設
2000 ● 平成 12 年	第 13 回町長選挙(犬伏正昭氏当選) クリーンいたの 21 誕生
2001 ● 平成 13 年	四国横断自動車道(板野 - 香川津田東間)供用開始 あすたむらんど徳島開園
2002 ● 平成 14 年	資源ごみ等持込回収スタート あせび温泉やすらぎの郷オープン 板野町公共下水道事業着手
2003 ● 平成 15 年	ねんりんピック徳島 2003 ウォークラリー交流大会開催 大坂口御番所跡旧村瀬館開館
2004 ● 平成 16 年	第 14 回町長選挙(犬伏正昭氏当選) 徳島県立総合教育センターオープン
2005 ● 平成 17 年	町制施行 50 周年記念式典 徳島ヴォルティス日本プロサッカー J2 参戦 第 4 次振興計画(基本構想)策定 第 15 回町長選挙(中島勝氏当選) ブックスタート開始
2006 ● 平成 18 年	防災無線テレフォンサービス開始 地域包括支援センター名称変更(旧地域型在宅介護支援センター) 徳島スポーツビレッジ完成 板野南小学校耐震化工事完了
2007 ● 平成 19 年	板野町東児童館新設移転 災害対策用備蓄倉庫完成
2007 ● 平成 19 年	第 22 回国民文化祭「いたの童謡とわらべ歌の祭典」
2008 ● 平成 20 年	板野東小学校・板野西小学校・板野中学校耐震化工事完了 板野町有線放送農業協同組合解散
2009 ● 平成 21 年	第 16 回町長選挙(玉井孝治氏当選) 第 1 回あさん地球フェスタ in いたの開催

2010 ● 平成 22 年	消費生活相談所開設 乳幼児医療の対象者を中学校修了まで拡大
2011 ● 平成 23 年	徳島東部定住自立圏形成協定締結 幼稚園給食開始 幼稚園・小学校・中学校給食費半額補助開始 田園パーク開設 20 周年記念行事 NHK 夏期巡回ラジオ体操会開催
2012 ● 平成 24 年	板野駅無料駐輪場新設 板野町防災避難訓練実施 第 27 回国民文化祭・とくしま 2012 国文祭成果継承事業(童謡とわらべ歌フェスティバル開催)
2013 ● 平成 25 年	役場庁舎耐震改修工事完了 第 17 回町長選挙(玉井孝治氏当選) 徳島ヴォルティス 四国初 J1 昇格
2014 ● 平成 26 年	東公会堂耐震改修工事完了 板野町学校給食センター着工 南公会堂耐震改修工事完了 西中富自歩道橋完成 板野町学校給食センター完成
2015 ● 平成 27 年	町制施行 60 周年記念式典挙行
2016 ● 平成 28 年	幼稚園授業料無償化 保育料無償化
2017 ● 平成 29 年	板野町コンビニ交付サービス開始 第 18 回町長選挙(玉井孝治氏当選)
2018 ● 平成 30 年	板野保育園統合(板野保育園 + わかば保育園)
2019 ● 平成 31 年	道の駅「いたの」着工
令和 元年	保育園・幼稚園給食費無償化
2020 ● 令和 2 年	町民センター耐震改修工事完了 道の駅「いたの」重点「道の駅」に選定
2021 ● 令和 3 年	道の駅「いたの」オープン 道の駅「いたの」防災道の駅に選定 徳島県総合防災訓練 第 19 回町長選挙(玉井孝治氏当選)
2022 ● 令和 4 年	子ども家庭総合支援センター開設 あわぎんスポーツガーデン人工芝・LED 照明・防球フェンス贈呈式
2023 ● 令和 5 年	出産祝金交付事業開始 小中学校等入学祝金交付事業開始
2024 ● 令和 6 年	女性消防団(第 5 分団)発足 板野町 DWAT 発足
2025 ● 令和 7 年	町制施行 70 周年記念式典挙行 第 20 回町長選挙(東根弘幸氏当選)

ITANO TOWN GUIDE MAP



高松市方面へ

板野東小学校
大坂分校

阿波大宮駅

高松自動車道

6

板野IC

阿波川端駅

旧吉野川

三好市方面へ

徳島工業
短期大学

板野東小学校

板野駅

板野高校

板野中学校

板野支援学校

板野西小学校

板野南小学校

徳島市
方面へ

藍住IC

石井町方面へ

施設



①板野町役場



②文化の館



③学校給食センター



④田園パーク・健康の館



⑤ふれあいプラザ



⑥あせび温泉
やすらぎの郷



⑦大坂峠展望台



⑧あせび公園（休憩所）



⑨板野西部消防組合消防署



⑩あすたむらんど徳島



⑪レキシルとくしま
（県立埋蔵文化財総合センター）



⑫県立総合教育センター



⑬道の駅「いたの」



⑭徳島スポーツビレッジ



⑮歴史文化公園

文化財



①第三番札所金泉寺



②第四番札所大日寺



③第五番札所地藏寺



④大坂口御番所跡



⑤愛染院

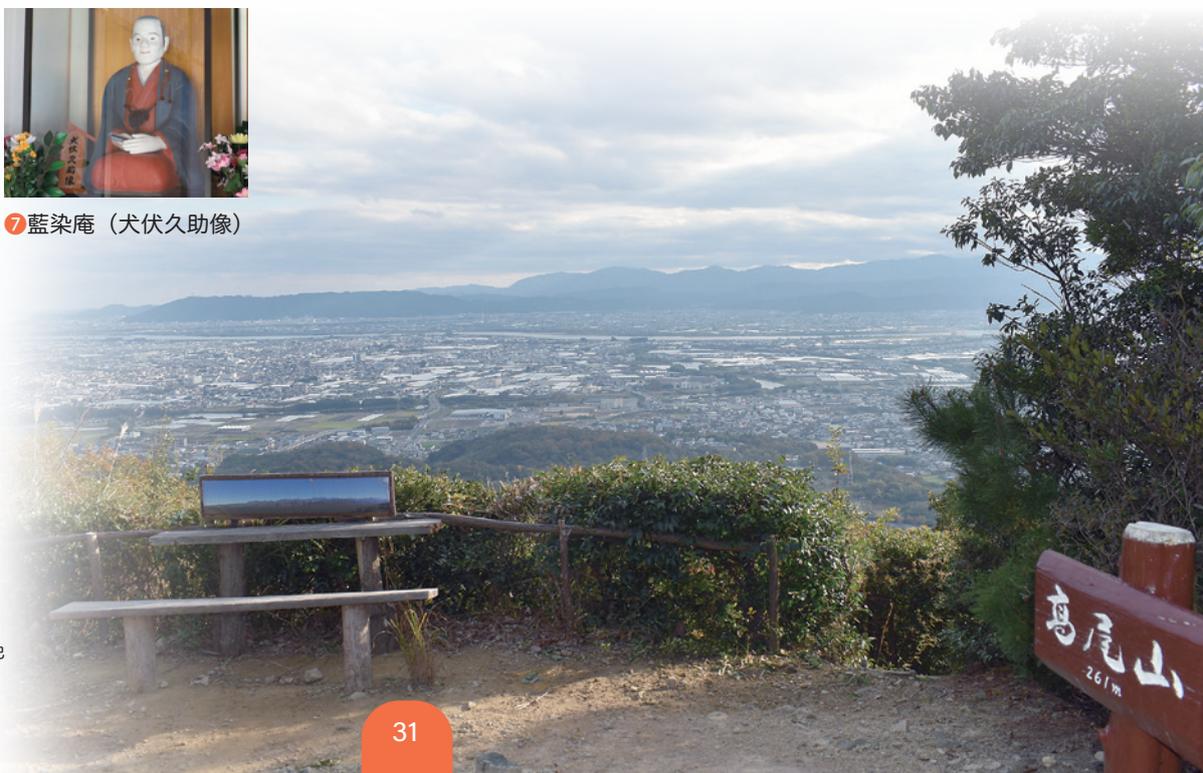


⑥岡の宮の大クス
（県指定天然記念物）



⑦藍染庵（犬伏久助像）

⑧高尾山
頂上からの景色





- 発行日 令和7年9月4日
- 発行 板野町
〒779-0192
徳島県板野郡板野町吹田字町南 22-2
TEL.088-672-5980
FAX.088-672-5553
- 企画編集 板野町総務課
- 制作 徳島県教育印刷株式会社



板野町 HP



@itano_town_official



@itano_town

